

支出の部

科 目	1990年度 決算額	1991年度 予算額	摘 要
会誌発行費	6,877,880	7,500,000	
名簿作成費	709,680	0	
編集費	800,000	800,000	
会誌送費	554,730	600,000	
役員会費	56,757	50,000	
年会費	480,433	500,000	
シンポジウム費	150,000	150,000	
消耗品費	6,880	20,000	
通信費	665,878	600,000	
諸印刷費	258,740	250,000	
人件費	0	20,000	
交際費	170,000	250,000	
業務委託費	2,037,321	2,150,000	
什器備品費	0	20,000	
協賛金	50,000	30,000	
雑費	237,815	300,000	
予備費	0	50,000	
会誌発行引当金	525,000	525,000	
名簿作成積立金	100,000	150,000	
計	13,681,114	13,965,000	
次年度繰越金	3,186,384	1,970,784	
合 計	16,867,498	15,935,784	

日本学術会議だより No. 29 (1991年2月)

日本学術会議は、例年どおり、平成2年度にも3回の主催公開講演会を開催した。講演会の題目は、第1回：高度技術と市民生活、第2回：資源エネルギーと地球環境に関する展望、第3回：人間は21世紀を生きられるか、である。

日本学術振興会の派遣研究者募集

日本学術振興会は、昭和40年以来イタリアのナポリ臨海実験所 (Stazione Zoologica di Napoli) に研究者を派遣しており、平成4年度も、下記のように派遣研究者の募集をしている。

1. 対象分野：海洋生物学の分野
2. 応募資格、募集人員、派遣期間：
 - 1) 短期派遣研究者：我が国の大学等学術研究機関に所属する常勤の研究者(教授・助教授級)。1名、15-30日。
 - 2) 長期派遣研究者：同上の助手級、または研究生等としてこれらの機関で研究に従事している学位取得者。1名、4-6か月。
3. 申請受付期間：平成3年8月15日-9月14日
4. 問い合わせ先：

日本学術振興会 研究協力課 ナポリ臨海実験所
派遣研究者担当係

〒102 東京都千代田区麹町5-3-1 (ヤマトビル)
電話 03-3263-1721 (代表)

編集後記・Editorial Notes

第38巻より、編集の世話役が佐藤寅夫編集幹事から多紀保彦に交代いたしました。昔とった杵柄ですが最初は仕事がうまく進まず、今号の発行が大幅に遅れました

ことを会員の皆様にお詫びいたします。次号からは punctual に発行するよう努めますので、何卒ご寛恕下さい。(Y. T.)